

緑風

帯広市立緑園中学校 学校だより No. 15

平成26年 12月8日発行 発行者 校長 辻 敦郎
教育テーマ 静かな時間の創造 今年度重点 創る！学び・つながり

《学校教育目標》

- 学ぶ人
- 思いやる人
- 鍛える人

作成者 学校HP担当 小倉 康生

子どもの心に響く道徳教育

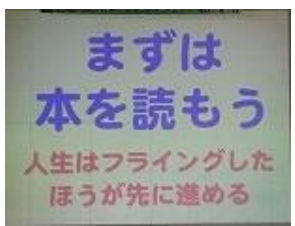
11月28日（金）に緑園中学校で講演会が行われました。

講師の(株)植松電機専務の『植松 努』さんは、芦別市出身で全国各地での講演やモデルロケット教室を通じて、人の可能性を奪う言葉である「どうせ無理」を無くし、夢をあきらめないことの大切さを伝える活動をしています。

植松さんの言葉



- ・あきらめたりやめたりして良くなる未来はありません
- ・やりたいことは、やったことがある人と仲良くなればできる
- ・人は足りないからこそ助け合える。
足りないことをバカにしないで。はずかしがらないで
- ・好きなことはがんばれる、おぼえちゃう。それが本当の実力
- ・どーせ無理、だったらこうしてみたら？
- ・夢とは大好きなこと やってみたいこと、仕事とは社会に役立つこと



講演を聞いた子どもたちの感想の一部を紹介します

- ・夢がなかなか見つからないので、親にも相談してみようかと思いました。
- ・共感できるところがたくさんあって、積極的に話を聴くことができました。
- ・自分に夢があったら、迷わずにそのことを一生懸命取り組もうと思いました。
- ・アニメや漫画をただ見るだけでなく、奥深くにある良いことを見つけて、自分の得意なことに生かしたいと思います。
- ・夢を持つことによって希望が見えるということは大事ななと思いました。
- ・どんな職業も、なるまでがすごく長いし大変だけど植松さんみたいに頑張れば夢は叶うということを知りました。
- ・好きこそ物の上手なれということわざがありますが、本当にその通りなのだと思いました。
- ・今度から無理だとは思わず、もしかしたらできるかもしれない、やってみなければわからないと思って頑張ってみようと思います。
- ・こういう機会を設けていただき誠に感謝しています。



生徒たちは感想用紙にたくさんの思いを書いてくれました。

クニ河内 ファミリーコンサート

緑園中学校を会場に、クニ河内ファミリーコンサートが開催されました。ピアノとマリンバの絶妙なハーモニーは聴いている鑑賞者たちを魅了しました。優しいピアノのメロディと心温まるマリンバのリズミカルなタッチの調和、さらに時折二人が交わす言葉のやりとりは、会場中を和ませてくれました。クニさんもおっしゃっていましたが、確かにこれは気持ち良くなって眠ってしまうのかもしれない。それほどの優しい音楽でした。(もちろん最後まで演奏を聴きましたが。)



これがマリンバ。
木琴と間違える人が
多いらしい。



有名なCM:ぴっかぴっかの～いちねんせい」の作曲者

部活動大会報告

○アイスホッケー

12月3日～7日に渡って行われた第57回全十勝中学校アイスホッケー大会(全道予選)において第三位となりました。三位決定戦では、1ピリオド終了時0-3でリードを許していたが、怒濤の追い上げを見せ、延長戦の末、勝利を収めました。

○バドミントン

6日に新人全道予選会が行われました。その中でダブルス江畑・香川組がベスト16、シングルスでは廣山がベスト16になるなどの結果を残した。

○バレーボール

同じく6日にはモルテン杯が行われ、男子は連合チームとして3位、女子も3位という結果を残しました。これから冬のスポーツが熱くなりそうです。応援よろしくお祈りします。

諸連絡



参観日の全体懇談会

11日

緑園中学校の学力向上の取組みについてのお話があります。緑園中学校では、朝読書、板書計画で統一した授業、数学・英語の習熟度別学習、思考力を高める指導の工夫、学習・生活規律に関わること(はきものをそろえる)について取り組んでいます。懇談会では詳しい説明がありますので、是非ご参加下さい。また、学校ホームページでも学力向上の取組みについて更新していますので、そちらも御覧下さい。【HP担当 小倉】



12・1月行事

12月

- ☆11日 授業参観・懇談会
- ☆15・16日 後期期末テスト (3年)
- ☆19日 終業式・大掃除

1月

- ☆13日 始業式

